

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	03-02-06-04
事務事業名	体育施設管理運営事業	根拠法令・要綱等	備前市体育施設設置条例、備前市都市公園条例、備前市 野明し施設設置条例、備前市立学校体育施設の開放に關 する条例、備前市温水プール運営条例、備前市温水プー ルトレーニングルーム運営要綱、岡山県備前市ニセンタ ターの利用料金を定める規則、備前市神農農村広域設置 条例、備前市山ノ上公民館設置条例
事業開始年度		問合せ先	教育委員会 スポーツ振興室
総合計画	大項目 基本目標 地域文化とひとが輝くまちづくり 中項目 基本施策 生きがいのあるまちづくり 小項目 施策 スポーツ・レクリエーションについて	職・氏名	室長補佐 山本 香代子
		電話	63-3813

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	備前市のスポーツ施設使用は個人・団体でスポーツを目的とした者。学校体育施設使用は備前市内に在住・ 在学する者で構成され、成人の使用責任者のいる個人又は団体。
目的 (何のために)	吉永B&G海洋センター以外のスポーツ施設等は、指定管理者制度を導入することにより、民間活力を活用し、維持 管理とサービスの向上に努め、快適スポーツ環境を整えた施設を提供する。また、地域の学校体育施設は学校の空き 時間を機能的に活用し、学校体育施設開放事業を行い、地域住民のスポーツへの参加を促すと共に、個々のライフ ステージに応じた各種のスポーツ活動が出来るよう、環境を整備・充実させ、スポーツの振興を図る。
行政活動 (どのような方法で)	施設管理運営事業 学校体育施設開放事業
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	環境を整え、施設利用者が快適にスポーツ活動が行えるようにする。 地域住民が気軽にスポーツへ参加できるようにする。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	体育施設利用者	人数	390,443	371,173	382,873
	学校体育施設利用者	人数	104,328	115,385	130,894
事業費	直接事業費	千円	132,579	96,237	144,750
	人件費		9,508	9,725	9,717
	事業費計		142,087	105,962	154,467
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担		54,519	1,057	1,989
	市一般財源		87,568	104,905	152,478
	必要人員	人	3.06	2.72	1.22
結果指標名					
結果指標	体育施設利用者	説明	スポーツ施設の利用者数		
	結果指標量	人	390,443	371,173	382,873
	対前年比	%	-	95.1%	103.2%
	活動コスト	円	112,748,972	135,818,313	120,389,286
	単位当たりコスト	円	289	366	315
結果指標	学校体育施設利用者	説明	市内の学校体育施設の利用者数		
	結果指標量	人	104,328	115,385	130,894
	対前年比	%	-	110.6%	113.4%
	活動コスト	円	2,195,160	1,750,060	1,718,463
	単位当たりコスト	円	21	15	13

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果	
成果指標名	体育施設利用者数
式又は説明	指数は数値が多い方が望ましい。
成果指標量	17年度 494,771.00 18年度 486,558.00 19年度 513,767.00
対前年比	98.34% 105.59%
到達目標値	520,000 到達目標年度 平成21年度

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A-E> B 課題認識
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外には方法はない <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	競技スポーツだけでなく、誰でも気軽にライフステージに応じた各種スポーツが でき、スポーツを楽しむ場の提供です。 また、公園としての機能も充実させ、年 間を通して市民の憩いの場としても整備 していきたい。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A-E> B 課題認識
	手段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	吉永B&G以外の施設は、指定管理者制 度を導入し施設の管理・運営を民間活 力を活用しサービスの向上に取り組んで いる。学校体育施設の開放事業は地域ス ポーツの中核として使用頻度が多い。使 用に伴う経費は応分の負担を利用者から 使用料として徴収している。
	職場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映しやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果は前年度より向上している	有効性評価<A-E> B 課題認識
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	市内の施設を一括した指定管理者とし、 さらにサービスの向上、改善と経費削減 に努める。学校体育施設開放事業につ いては引き続き、地域住民のスポーツ活 動の場として提供し、利用者増に努める。

平成20年度の状況		
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	説明 体育施設の利用に、施設の管理・運営については民間活力を活用した指定 管理者制度の導入により、コストの削減はできた。また、学校体育施設開 放事業についても、利用者が増加し、一人当たりにかかるコスト削減がで きた。
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量	結果指標量
	成果指標量	

総合評価		評価区分 <A-E> B	
吉永B&G海洋センター以外の施設は、指定管理者制度を導入し施設の管理・運 営を民間活力を活用しサービスの向上と経費削減に努めてきた。吉永B&G海洋 センターにおいても市職員による管理・運営であるが他の業務との兼務をしな がらもサービスを低下させないよう努め、経費の削減もできた。学校体育施設 の開放事業も地域スポーツの中核として有効に活用できた。各施設の老朽化による修 繕費の増はまぬがれない			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果